

# 電機・情報ユニオン

2013年5月10日 第20号  
 発行 電機・情報ユニオン  
 〒105-0004 東京都港区新橋4-24-3  
 エムエフ新橋601  
 Tel&Fax 03-6450-1777  
 Email: denkiunion@gmail.com

## 国際労働基準を学び活用を



ILO駐日事務所  
林 雅彦次長

電機労働者懇談会と電機・情報ユニオンは4月20日(土)、政策学習会「電機産業と国際労働基準」を都内の神明いきいきプラザで開催し、11企業、3団体から40名が参加しました。

今井節生電機懇代表は、大企業の社会的責任を追究してきた20年来の電機懇運動や東芝争議を紹介し「日本の学習会で学んで、電機大手のCSR行動は国際労働基準に照らしてどうか、正していく立場で取り組んでいく」と開会挨拶を行いました。

**ILO(国際労働機構)の究極の目的は**

続いて、ILO(国際労働機構)駐日事務所の林雅彦次長から「デーセントワークとその戦略的目標」についての講演が1時間40分にわたりに行われました。

林氏は、ILOの歴史、必要性、目的、組織、活動

を詳しく説明し、ILOとは何かを示されました。

この中で、ILOの究極の目標は「労働条件の改善を通じた社会正義の実現」であるとし、1999年には、新たな21世紀にむけた目標として「すべての人にデーセントワークの実現」を提唱したことを紹介しました。

### デーセントワークの4つの戦略目標

林氏は、デーセントワーク(働きがいのある人間らしい仕事)については「十分な雇用の『量』と『質』」の両方に着目していること、4つの戦略目標を掲げていること、ILOが重視して取り組んでいることを話しました。

#### 4つの戦略目標

- 1 仕事の創出(雇用)
- 2 仕事における権利の保障(権利)
- 3 社会的保護の拡充(保護)
- 4 社会対話の促進と紛争解決(対話)

### デーセントワークと労働CSR

林氏は、CSR(企業の



4月20日(土) 政策学習会・電機産業と国際労働基準

社会的責任)の定義と動向、コンプライアンス(法令遵守)の解説を行い、「狭義のコンプライアンス⇩労働CSRの適用⇩デーセントワーク」の道筋を力説し、講演を締めくくりました。

### グローバルコンパクトとISO26000の実践

その後、米田徳治電機・情報ユニオン執行委員長が「グローバルコンパクトとISO26000の実践」をテーマに30分間の報告を行いました。

米田氏は、電機大リスト

ラの特徴とたたかい、国連グローバルコンパクト(GC)は何を求めているのか、ISO26000の活用についてを、NEC、東芝MCP、沖電気などでの取り組みをまじえて報告し、特に国連GCの原則1と2(人権)、原則3(団体交渉)を活用した労働組合運動の強化を提起しました。

講演と報告を受けて、会場の5名から報告と質問が出され、林次長から詳しい回答が行われました。

最後に、森英一電機・情報ユニオン書記長から「国際労働基準、国連GCを学び、身につけていきましよう」との呼びかけが行われ、政策学習会を終えました。

### 第20号の紹介

- 1面 国際労働基準を学び活用を
- 2面 第84回メーデー  
米田委員長メッセージ⑩
- 3面 賃上げ・安定雇用についての懇談会に参加  
リコーサービス残業是正で労基署に要請
- 4面 交流のひろば、告知板